

春満喫！！ ファミリーデイキャンプ

2026年3月28日(土)、ファミリーデイキャンプとして生駒山麓公園までの登山と生駒山麓青少年野外活動センターにて自炊をしました。17家族、43人の方に参加して頂きました。

ファミリーデイキャンプの数日前までは雨の予報でしたが、当日は快晴に恵まれ気持ちよく登山と自炊をする事が出来ました。

生駒駅に集合し、生駒山麓公園まで登山しました。道中は、親子の交流や、お友だち同士、お友だちとリーダー、保護者の方とリーダー、保護者同士の交流などがあり、疲れも見える中でしたが、みんなで励まし合いながら登山しているのがとても印象的でした。生駒山麓公園に到着した時は「ヤッター！」と喜んでいるお友だちもいました。疲れはしましたが、とても清々しい表情でした。

到着後は、各班に分かれて自炊をしました。お米班、野菜班、火付け班に分かれ作業を行っていきました。また、各班隠し味(コンソメ・バター・めんつゆ・焼き肉のタレ)を決めました。親子で野菜を切る姿や初めて火付けをするお友だちは、顔を真っ赤にしながらも団扇を仰いで火を消さないように頑張っていました。様々の場面で沢山の経験をすることができました。隠し味を入れ、カレーが完成となった時には、お友だちのやりきった顔が印象的でした。

「いただきます。」をして、一口目を食べた時には、「美味しい！」と口々に言っていました。隠し味も「バター美味しい！」や「焼き肉のタレも美味しいで！！」という声も聞くことができました。

カレーを食べた後は、発砲スチロール飛行機を作りました。親子で作る様子は嬉しく思えました。完成すると、飛行機飛ばし大会や、親子で飛ばし合う様子も見られました。

普段では見られない親子の交流、お友だち同士の交流が見られ、プログラムを通して新たな一面を見る事が出来ました。



初めてこの研修会に参加させていただきました。

この研修会では、全国のYMCAで働いている方と交流することができ、キリスト教信仰を、今までより少し身近に感じるとも充実した学びの2日間となりました。また、YMCAに関わるスタッフとしての在り方を改めて考える時間となりました。

研修では聖書の言葉をもとにお話を聞く中で、「伝える」という事はただ言葉で説明する事ではなく、自分自身の関わり方や日々の姿勢を通して自然と伝わっていくものだと感じました。

YMCAに入職してから、私たちもキリスト教を保育に自然と取り入れ触れ合ってきているように、「キリスト教に触れる体験」が大切だと思いました。YMCAの活動の中で、関わる人たちが安心したり、温かさを感じたりする、その一つひとつが子ども達、職員としても大切な経験に繋がっていくのだと思いました。

今回の研修を通して、今後は子どもたちや関わる人々に対して、より丁寧に向き合いながら、喜びや安心感を分かち合える存在でありたいと思います。



ピンクシャツウィーク

体育野外事業部 にしだ みゆき
西田 美幸

奈良YMCAでは2026年2月16日(月)～3月2日(月)をピンクシャツウィークとし、青少年センターやスイミング、ならこども園、あきしのこども園・西大寺南保育園の各部署、各クラスでピンクシャツデーの取り組みを行いました。今年度は新たな取り組みとして、ゆきんこキャンプやハチ高原わくわくスキーキャンプのなかでもピンクシャツデーの活動を行いました。

青少年センターとスイミングでは、ロビーにピンクTシャツがデザインされた紙を設置し、「お友だちの良い所を見つけて書こう！」や「もし、お友だちが悲しい思いや、辛い思いをしていたらあなたはどうする？」をテーマにし、子どもたちがそれぞれの思いを書き、いじめについて考えてもらえる時間としました。

幼児クラスではピンクシャツデーにちなんで「奈良YMCAオリジナル紙芝居」を作成し、幼児のお友だちにも分かりやすく伝えることができました。子どもたちからは「いじめめることはよくないことだよね」、「みんなと仲良くしないといけないんだよ」など優しく思いやりのあるたくさんの言葉が出てきました。

小学生のお友だちには、「もし、それぞれの場所で、自分が悩んでいることや困っていることがあればリーダーや先生、仲間やお父さん、お母さんに話してほしいな」「YMCAにはみんなの居場所がしっかりとあり、みんなの力になれるリーダーや仲間がたくさんいるよ」というお話をしました。

子どもたちと共に「いじめ」について考え向き合える時間を持つことにより、子どもたちとの関係性が深くなり、心の距離がより一層近づくことができました。

奈良YMCAでのピンクシャツデーの取り組みや私たちの言動が、子どもたちや会員の方々の心に残り、それぞれが明るい未来へと繋がっていくことを願っています。

「だいじだよ わたしのきもち ぼくのきもち」



2026年度 あきしのこども園・ならこども園・西大寺南保育園 新園長先生のご紹介

新たに園長として赴任いたしました YMCA あきしのこども園は、2026年8月に開園11年目を迎えます。私も、開園してから3年あきしので過ごし、西大寺南3年、ならこども園5年と勤務し、8年ぶりのあきしのでの勤務になります。3園の中では子どもも、職員も多く、大所帯の園になります。社会福祉法人奈良YMCAの理念、「一人ひとり大切に」をこれまで以上に大切に、子どもにも保育者、保護者、地域と寄り添える園としての運営を目指していきます。また、あきしのこども園とつながっていただいている皆様とのご縁も大切に、YMCA スローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」をモットーに豊かな養育、保育環境を引き続き運営してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



YMCA あきしのこども園

ふくい かおり
園長 福井 香

これまで YMCA あきしのこども園、YMCA 西大寺南保育園でそれぞれ5年間、計10年間に渡り子どもたちと関わってきました。一人一人の発達や個性に寄り添いながら、子どもたちが安心して園で過ごせるように環境づくりを大切にしてきました。子どもたちのやってみたいという気持ちを尊重し、自分で考え行動する力が育むように保育を行うことを心掛けています。その中で、子どもたちは一つ一つの経験が栄養となり、深く、たくましい根を育てています。また、保護者の方とも丁寧に関わり、信頼関係を築くことを大切にしてきました。4月からは YMCA ならこども園の一員として新しい出会いに感謝しながら、職員で一丸となり子どもたちの成長を楽しみながら、私自身も成長していきたいと思っています。

YMCA 西大寺南保育園は小規模保育園です。0歳児から2歳児までの園児が過ごしています。小規模ならではの家庭的な雰囲気の中、職員は日々子どもたちや保護者の方に寄り添い安心して過ごせる保育を心掛けています。

今年度4月から新たに誰でも通園制度を開始いたしました。保護者の方と初めて離れて過ごすお子さまも多いと思うので、温かく家庭的な雰囲気の中で在園のお友だちと一緒に楽しい時間が過ごせるようにしていきたいと思っています。少ない人数で保育を行っていることで職員同士がお互いを思いやり、結束力を強くもてるような体制づくりも行いたいと思います。

今後も、子どもたちや保護者の方、職員が毎日安心して笑顔で過ごせるような場所になるよう尽力していきたいと思っています。

YMCA ならこども園

せがわ みさこ
園長 瀬川 実沙子



YMCA 西大寺南保育園

やまで さやか
園長 山出 紗野香



国際協力募金活動

体育野事業部 ありた いすみ
有田 惟純

2025年11月1日から2026年1月31日の期間で国際協力募金キャンペーンを実施しました。貧困で苦しむ人への支援、子どもの教育支援、戦争や紛争で傷ついた人のケア、災害支援など世界に広がるネットワークを通して取り組んでいます。

今年度は昨年度からの取り組みを継続して、「国際協力募金ワールドマップ」に取り組むと共に、国際理解学習の機会として、マップの進行に合わせてクイズ形式で世界の国について学習する「世界学び隊」を実施しました。子どもたちは、募金箱が集まればクラス内で実施するクイズを楽しみに、たくさんの募金箱を持ってきてくれました。

また、11月9日には県内4カ所（大和西大寺駅・近鉄奈良駅・JR奈良駅・生駒駅）で「街頭募金」を実施しました。今年度は、横断幕をYMCA新ロゴ・英語表記バージョンにリニューアルしました。子ども51名、大人26名の合計77名の方にご参加いただき、子どもたちが中心となり、大きな声を出して、募金の呼びかけを行いました。悪天候の中、募金活動を頑張る子どもたちを目にし、立ち止まって募金をしてくださる方がたくさんおり、子どもたちも自分たちの取り組みに応えてもらえる嬉しさを話してくれました。

このような活動のほかにも、「プールチャリティー」「チャリティー親子サッカー」を実施し、楽しくイベントに参加してもらいながら、募金活動の趣旨について多くの方に知ってもらえる機会となりました。

このような活動を通して、多くの方にご賛同いただき、**543,201円**をご寄付いただきました。ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。



Amazon みんなで サンタクロースキャンペーン報告

2025年度も『Amazon 奈良 YMCA サンタクロースリスト』を通じてたくさんのご支援の品物が届き、子どもたちとスタッフの喜びの音がこども園やYMCA館内に響きました！ありがとうございました。



総主事通信

指導者として30年。特にサッカープログラムの指導を担ってきました。2002年から中学生のサッカープログラムの担当となり、色々な大会に出場してきました。その中で一度も勝つことが出来なかった指導者がいます。私よりも二回りぐらい年長の方で、お亡くなりになられて10年が経ちました。今でもよく、こてんぱんにやられた試合を思い出し、「どうやったらあんなサッカーが出来るのか」考えることがあります。お酒の席を含めて何度か話をさせてもらうことがありました。「上地、お前はいつ勝ちたいんや？」と言われたことを思い出します。その方はベンチからほとんど何も言わない方で、私も個人技を大切に丁寧に指導していたつもりでしたが、その方から見れば、『教えすぎ』ていたのではないかと思います。その方の本が出版されました。本の題名は「ボチボチやらないかんぞ」です。本の中の「わしの仕事は教えることじゃなくて、見ることや」、「指導者が口で言えば言うほど、子どもはうまくでけへんのや」という言葉が印象的です。

2026年度の年間聖句が「何事も愛をもって行いなさい」コリントの信徒への手紙一 第16章14節に決まりました。愛を込めて『見守る』、『待つ』ことの大切さを再認識させられました。

うえじ のぶちか
奈良YMCA 総主事 上地 信親

維持会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2026年4月25日現在・敬称略

【維持会員】

岩本 二三子
植田 修二
内田 勝久
門野 文彦
神崎 清一
北林 成子
北林 秀一
北林 秀彦
北村 高史
熊巳 由佳
佐藤 公一
穴戸 秀子
穴戸 良朗
杉浦 文子
高井 亮吉
高田 嘉昭

田中 幸一
辻 亮
徳田 健
中井 信一
鍋島 祥男
林 佑幸
平松 麻那
前田 敏宏
前田 未帆
松川 和子
水野 藤男
三枝 隆
百本 淑子
山口 ルミ
與語 章浩
吉岡 正昭
渡邊 新久
瀧口 勇

【賛助会員】

植田 國義
上田 清
内田 彩子
遠藤 通寛
遠藤 徹郎
紘谷 隆
神谷 一恵
金 智重
豊澤 安男
林 夏代
人見 晃弘
姫嶋 淳克
平田 洋子
望月 強
吉田 全孝

【法人・団体賛助会員】

(株) イタクラエナジーズ
共同精版印刷 (株)
有限会社グリーンスポーツ
(株) 甲南保険センター
コール・マスキール
タリス室内オーケストラ
奈良 OA システム (株)
奈良交通 (株)
(株) 奈良新聞社
奈良 YMCA 善意通訳協会
前川 (株)
明光開発 (株)
リフレ建設 (株)

賛助会員のご案内は
こちらをご覧ください。



奈良 YMCA の活動情報など是非ご覧ください！



公益財団法人 HP



社会福祉法人 HP



各プログラム
Facebook 一覧



公益財団法人
Instagram



社会福祉法人
Instagram

奈良 YMCA の使命

奈良 YMCA につどう私たちは、日本 YMCA 基本原則の精神に基づき、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざを實踐し、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願うとともに、平和で民主的な社会の実現をめざします。

私たちは、

1. 人々が互いに尊重し、協力しあって、ともに生きる社会の実現につとめます。
2. すべての人々が生涯にわたる学びをとおして、自己の成長をはかれるよう、学習の場と機会を提供します。
3. ボランティア精神を育てる場とネットワークを創り出し、地域と国際社会に貢献します。
4. すべての生命をいつくしむことの大切さを認識し、人と自然が共生できる地球環境を守ります。
5. 世界の人々との交流をはかり、難民や発展途上国の困難さや痛みを分かち合い、地域と公正社会の実現に努力します。
6. アジアにおける日本の歴史的課題を学びつつ、世界平和実現のために祈り、行動します。

2026年度 基本聖句

「何事も愛をもって行いなさい。」
(コリントの信徒への手紙一 16章14節)